

令和6年度 行政評価 進捗管理シート

(第5次総合計画 前期基本計画 39-41 ページ)

政策名	2 健康で自分らしく過ごせる毎日のために。(健康・福祉)
施策名	6 地域福祉の推進

★ 目指す姿

多様な主体による地域福祉活動が活発に取り組まれており、地域で互いに支え合いながら安心して暮らすことができる。



■ 施策の主な取り組み

① 総合的な福祉サービスの提供

市民が必要な情報を取得することができ、また安心して福祉サービスを利用することができるように香芝市総合福祉センターを福祉サービスの総合的な拠点として維持・運営します。

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初	目標値			
			(R1)	R6	R10	R14	
総合福祉センター貸室の利用率	%	年間稼働稼働数/年間利用可能稼働数	50	55	60	65	
総合福祉センターサービス提供満足度	%	施設に関するアンケートで「満足」と回答した人数/全回答者数(センター来訪者対象)	—	70	80	90	

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①-1	総合福祉センター管理運営事業	総合福祉センター施設の維持管理、貸室(全8室)の利活用の促進、かしば・屯鶴峯温泉の運営を行います。	●

前年度実績値	今年度の進捗				担当所管
(R5)	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (R6年度比)	
39	50	38	37.6	75.2%	健康福祉部 社会福祉課
88	85	-	83.7	98.5%	健康福祉部 社会福祉課

② 地域で支え合う仕組みづくり

地域住民の交流を促進するとともに、地域福祉を担う団体等を支援することで、地域の多様な主体により生活課題・福祉課題を解決するための支援が包括的に提供される仕組みづくりを進めます。

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初	目標値			
			(R1)	R6	R10	R14	
地域福祉計画目標達成率	%	各事業の評価指数の合計/各事業の評価指数の最大値の合計	70	80	85	90	
小地域福祉活動実施地域	%	地域福祉推進委員会又はふれあいいきいきサロンが設置されている地域数(累計)/設置対象地域数(全47地域)	68.0	78.7	89.3	100.0	

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②-1	地域福祉推進事業	市内各地域にふれあいいきいきサロン等の活動組織を設置します。また、ボランティア活動の推進及び民生委員・児童委員や保護司等の支援を行い、各関係団体、組織間の連携を図ります。	●

前年度実績値	今年度の進捗				担当所管
(R5)	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (R6年度比)	
74	80	-	71.3	89.1%	健康福祉部 社会福祉課
68	72.0	68	68.0	0.0%	健康福祉部 社会福祉課

■ 実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価			今後の方向性			担当所管
今年度の事業実施計画		実績と課題	担当課 評価 (A/B/C)	3視点 必要性 有効性 効率性	所管判定 成果の方向性 コストの方向性	方向性の内容(改善策) ※3視点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点については、 現状を改善し、高めていくための方策等について記入		
①-1	総合福祉センター管理運営事業	【実績】 ・貸室業務については、使用料の見直し後も利用者数は平年通りである。 ・本年度より受給者負担の適正化を目的として利用料金区分の見直しを行った。 ・温泉利用者は昨年度に比較して増加している。 ・温泉内に冷水機2台を設置した。 ・おむしやり駐車場4台分を設置した。 【課題】 ・利用率、利用者数の向上。 ・中規模修繕工事に含まれていない整備不良箇所の改修。 ・駐車場の確保。	A	90 72 90	拡充 現状維持	【成果の方向性】 ・貸室や屯鶴峯温泉の利用者増に向け、具体的な取組みを検討し実施する。 【コストの方向性】 ・施設の維持管理にかかるコストについては、必要性や優先順位を検討し現状維持に努める。	健康福祉部 社会福祉課	
②-1	地域福祉推進事業	【実績】 ・重層的支援体制整備事業の準備事業として、福祉総合支援窓口(多機関協働事業)を設置した。 ・障がい児者ふれあいの集いとボランティアフェスティバルを同時開催し、938名(うち障害者97名)が参加した。 ・民生委員全体を対象とした研修を実施 2回。 【課題】 ・民生委員のなり手不足、負担軽減。 ・重層的支援体制を活用した地域福祉の推進	A	90 85 80	拡充 拡大	【成果の方向性】 ・包括的支援体制の整備に向け、6年度準備事業として開始した重層的支援体制整備事業について、重点事業として7年度から本格実施に移行する。 ・地域福祉のさらなる推進に向けて、第4期地域福祉計画を策定する。 【コストの方向性】 ・重層的支援体制整備事業の本格実施をはじめ、地域福祉の推進にむけた新規事業を実施するため、予算規模の拡大を図る。	健康福祉部 社会福祉課	



■ 施策の方向性(改善策)

次年度の方向性	【①-1総合福祉センター管理運営事業】 福祉の拠点施設として安全・安心に利用できる施設の提供及び福祉行政の安定した遂行に取り組む。 【②-1地域福祉推進事業】 令和6年度準備事業であった重層的支援体制整備事業については、次年度より本格実施を開始し、地域福祉をの更なる推進を図る。
---------	--

担当課評価	
A	2 事業
B	0 事業
C	0 事業

成果の方向性		コストの方向性	
拡充	2 事業	拡大	1 事業
現状維持	0 事業	現状維持	1 事業
縮小	0 事業	縮小	0 事業
休止	0 事業	休止	0 事業

令和6年度 行政評価 進捗管理シート

(第5次総合計画 前期基本計画 45-47 ページ)

政策名	2 健康で自分らしく過ごせる毎日のために。(健康・福祉)
施策名	7 医療提供体制の充実

★ 目指す姿

すべての世代が、かかりつけ医を持ち、適切な時期に適正な医療を受診することができる。

SDGs該当分野



■ 施策の主な取り組み

① 地域医療体制の充実

市民が必要な時に適切な医療を受けることができるよう、在宅医療の推進、救急医療体制の確保、市医師会・県・近隣市町村等との連携強化を進めます。また、市民への周知・啓発を図ります。

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
二次救急の応需率	%	受け入れた件数/受け入れ要請件数	76.0	80	82	84
こども救急電話相談(※8000)の認知度	%	4か月児健診時のアンケート(健やか親子21奈良県統一アンケート)で「知っている」と回答した人数/全回答者数	93.4	95	95	95

前年度実績値 (R5)	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成率 (R6年度比)	担当所管
67.4	80	—	65.7	82.1%	健康福祉部 健康衛生課
95.4	95.5	97.8	96.3	100.8%	健康福祉部 健康衛生課

② 感染症対策の推進

感染症の拡大防止と重症化予防のため、各種予防接種の受診の徹底を図ります。また、奈良県や医師会・保健所等の関係機関と連携して新型コロナウイルスを含んだ未知の感染症対策に取り組むとともに、市民に対して社会情勢や環境変化を捉えた啓発を実施します。

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
MR(麻疹風疹)の接種率	%	各接種者数/MR1期(1歳児)、MR2期(年長児)接種対象者数	92.5	93	95	97
高齢者インフルエンザ予防接種の接種率	%	65歳以上のインフルエンザ予防接種の接種者数/65歳以上の人口	52.2	55	57	59

前年度実績値 (R5)	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成率 (R6年度比)	担当所管
91.2	93	51.3	96.3	103.5%	健康福祉部 健康衛生課
54.6	55	—	50.2	91.3%	健康福祉部 健康衛生課

■ 実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価			今後の方向性			担当所管
今年度の事業実施計画		実績と課題	担当課 評価 (A/B/C)	3視点 必要性 有効性 効率性	所管判定 成果の方向性 コストの方向性	方向性の内容(改善策) ※3視点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点については、 現状を改善し、高めていくための方策等について記入		
①-1	夜間休日応急体制充実事業	【実績】 ・市民が必要時に利用できるよう、夜間・休日診療所や救急電話相談について、広報、ホームページ及び年間行事予定表等で周知を図った。 ・必要に応じて、奈良市医師会連携会議を開催した。 【課題】 ・引き続き、医療体制を維持していけるよう関係機関との連携を強化し、夜間・休日診療所や救急電話相談についての周知に努める。	A	85 80 72	現状維持 現状維持 現状維持	【成果の方向性】 ・市民が必要時に夜間・休日診療所が利用できるよう、広報紙・ホームページ等での周知を充実させていく。また、円滑な事業運営のための関係機関との連携を図る。(成果の現状維持) 【コストの方向性】 ・引き続き、夜間・休日応急体制の整備を行っていく。コストの方向性については現状維持とする。	健康福祉部 健康衛生課	
②-1	予防接種事業	【実績】 ・予防接種法に基づき、定期予防接種の接種動員や特例接種の業務を計画どおり実施した。 ・乳幼児健診、相談にて接種率を確保し、接種率向上を図った。 ・接種率向上のため、市内実施医療機関、薬局、公共施設にポスターを掲示した。また、広報・ホームページ・年間行事予定表等に掲載し周知を図った。 【課題】 ・引き続き、医療体制を維持していけるよう関係機関との連携を強化し、夜間・休日診療所や救急電話相談についての周知に努める。 ・定期接種の接種率向上のため、実施体制の整備や市民への周知啓発が必要である。	A	85 80 80	現状維持 現状維持 現状維持	【成果の方向性】 ・予防接種法に基づき、定期予防接種の接種動員や特例接種の業務を継続実施し、接種率の向上を図っていく。 【コストの方向性】 ・コストについては、北葛城地区医師会との会議にて委託料が決定されるため、現状維持とする。	健康福祉部 健康衛生課	
②-2	感染拡大対策事業	【実績】 ・毎週発行の奈良県感染症情報(奈良県)、感染症エクスプレス(厚労省)を把握し、ホームページやLINE等にて市民に対して適正な情報提供を行った。 【課題】 ・引き続き、感染症情報を正確に把握し、予防方法を含め迅速に周知啓発ができるよう努める。	A	80 75 80	現状維持 現状維持 現状維持	【成果の方向性】 ・感染症対策として、平時より正確な感染情報、その対処法や予防方法を引き続き市民に啓発を図っていく。 【コストの方向性】 ・市医師会や北葛城地区医師会との連携会議にて、有事の際の対応やコストの体制整備を行っていく。	健康福祉部 健康衛生課	

■ 施策の方向性(改善策)

次年度の方向性	・今後も安定した医療体制の確保ができるよう、関係機関と連携を強化していく。 ・国の予防接種方針に基づき、円滑・安全な予防接種の実施を推進する。 ・感染症発生時、適切な対応ができるよう情報収集及び医師会との連携を図る。
---------	--


担当課評価	
A	3 事業
B	0 事業
C	0 事業

成果の方向性		コストの方向性	
拡充	0 事業	拡大	0 事業
現状維持	3 事業	現状維持	3 事業
縮小	0 事業	縮小	0 事業
休廃止	0 事業	休廃止	0 事業

令和6年度 行政評価 進捗管理シート

(第5次総合計画 前期基本計画 48-50 ページ)

政策名	2 健康で自分らしく過ごせる毎日のために。(健康・福祉)
施策名	8 健康づくりの推進



★ 目指す姿

健康に関する正しい知識を得て、自らの健康を意識し積極的に健康づくりに取り組んでいる。



施策の主な取り組み

① 健康的な生活習慣の推進

病気の予防、早期発見・早期治療に取り組む等、市民一人ひとりが「自らの健康は自らで守る」という意識を持ち、主体的に健康づくりを進めるために、各種健(検)診・教室・相談・啓発活動の充実を図ります。

◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	R6	R10	R14
5大がん検診受診者数	人	5大がん検診の受診者数	6,034	6,200	6,400	6,600
特定健康診査受診率	%	特定健康診査者/特定健康診査対象者	35.6	60	60	60

前年度実績値 (R5)	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (R6年度比)	担当所管
6,301	6,400	1,402	6,048	94.5%	健康福祉部 健康衛生課
34.7	60	7.5	34.8	58.0%	健康福祉部 国民健康保険課

② 心の健康づくりの推進

生きづらさを感じているかたが、心の健康相談や臨床心理士によるカウンセリング、発達相談を受けることができる環境を整え、自殺予防対策やメンタルヘルズ支援を行い、精神的に安定した生活ができるよう支援します。

◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	R6	R10	R14
自殺死亡率の減少	—	人口10万人当たりの自殺者数(暦年単位)	13.4	11.4	10.2	9.0
子ども・若者相談支援件数	件	相談件数	49	60	70	80

前年度実績値 (R5)	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (R6年度比)	担当所管
15.2	11.4	—	12.3	55.0%	健康福祉部 健康衛生課
32	35	40	46	131.4%	子ども家庭部 児童福祉課

③ 望ましい食生活の定着推進

食生活と栄養についての知識の普及を進め、健全な食生活を実践できる習慣を身に付けることができるようします。また、学校給食への地元食材の使用、料理教室等の開催を通じて、子どものころから「食」について考える環境づくりを進めます。

◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	R6	R10	R14
食に関する教室の参加率	%	参加者数/離乳食・食生活・料理講習会等の定員総数	57	65	70	75
食事バランスが取れている人の割合	%	食育調査で「1日2回以上食事をとり、主食+主菜+副菜を食べると回答した人数/全回答者数(20歳以上の市民の方対象)	41.4	55	60	70

前年度実績値 (R5)	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (R6年度比)	担当所管
48.1	65	80	80.8	124.3%	健康福祉部 健康衛生課
—	55	36.3	36.3	66.0%	健康福祉部 健康衛生課

実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価			今後の方向性		
今年度の事業実施計画		実績と課題	担当課 評価 (A/B/C)	3視点 必要性 有効性 効率性	所管判定 成果の方向性 ※3視点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点については、 現状を改善し、高めしていくための方策等について記入	担当所管	
①-1	がん検診事業	【実績】 ・検診実施期間の前半は個別検診のみで、後半は集団検診と併用して実施した。集団検診を後半に集約し、予約枠を効率的に定めることができたが、年度末にかけていくつかの日程で定員を超過した。 ・検診実施期間の前半は、5大がん検診の検診の記事の掲載や指定市公式LINEでがん検診受診啓発を実施した。 【課題】 ・検診受診率向上のため、実施体制や受診率の低い年齢層への受診勧奨方法の検討が必要。	A	90 80 74	現状維持 現状維持 現状維持	【成果の方向性】 ・令和5年度より、年度の前半は個別検診のみ、後半は集団検診を設定したことでがん検診受診者数は増加している。令和6年度においても同じ方法で実施し、令和5年度に比して集団検診の割合を減らしているが、受診者数の中間値では昨年度と同等であり、現状維持とする。 ・令和5年度より新システム導入により、事務の効率化に繋がっているが、人件費等の検診コストは上がっている。事業の効率化を検討し費用を現状維持とする。	健康福祉部 健康衛生課
①-2	健康づくりに関する教育事業	【実績】 ・健康づくり推進協議会及び歯科保健事業推進協議会をそれぞれ1回実施した。 ・地区組織活動支援事業について、ボランティアの養成講座、研修会を実施した。 ・健康づくりに関する教室、講演会を実施した。デジタルサイネージやLINEを用いた告知や休日開催した。 【課題】 ・講演会や健康づくり教室については、幅広い年齢層の参加を促すための仕組みづくりが必要。	A	90 80 74	現状維持 現状維持 現状維持	【成果の方向性】 ・教室、講演会等の参加者を増やすため、開催の周知啓発を引き続き実施する。 【コストの方向性】 ・予算は研修費のみであるため、コストは現状維持とする。	健康福祉部 健康衛生課
①-3	医療費適正化事業	【実績】 ・人間ドック助成は、定員枠を30名増やしたが、10月に180人に達した。また、みずかきとして費うことで特定健康診査率向上に寄与した。 ・脳ドック検診申し込み者数が減少しているが、被検者数の減少による影響が大きいと考える。 ・被検者参加型ヘルスアップ事業として実施した健康測定会では、参加者から「健康を促すよう思っている」といった声を聞き出した。また、看護婦等へ関心による健康相談を行い、生活習慣改善を促した。 【課題】 ・人間ドック助成は昨年度に引き続き定員に達しているため、定員数の見直しが必要である。 ・健康測定会参加者の多くが健康意識の高い方で、健康にあまり興味がない特定健康診査未受診者に対する手段としては効果が見込めない。	B	100 55 82	拡充 拡充	【成果の方向性】(有効性の改善等について) ・令和5年度より検診者参加型ヘルスアップ事業(健康測定会)を実施し、対面での受診勧奨を行った。健康づくりの意識づけや健康相談の機会の提供等に貢献することができているが、参加者の多くが元々健康意識が高い方であり、目的である特定健康診査未受診者にリーチできていないことから、今後個別型ヘルスアップを活用した活動や、40歳未満の被検者への早期介入事業を検討する。 【コストの方向性】 ・西暦の交付金も有効に活用し、事業を継続する。	健康福祉部 国民健康保険課
②-1	精神保健事業	【実績】 ・第2次若者市自衛対策計画の進捗管理を行い、自殺対策推進会議を実施した。 ・グートキーパー養成講座を3回、こころの健康講座(ほっとく)を1回、ピアグループ(ほっとく)を6回実施した。 ・心の健康に関する相談窓口(相談窓口)の自費予約受付業務を円滑に、相談窓口についてホームページや広報、LINEにて周知を行った。 【課題】 ・臨床心理士は計画どおり、心の健康相談室で臨床心理士等による相談を実施した。 ・若年層の自殺者が増えているため、若年層が取りやすいデザインの啓発資料の利用やSOSの出発点となる相談窓口、引き継ぎ心の健康づくりに関する正しい知識や相談先の周知啓発に努める。	A	90 75 87	現状維持 現状維持 現状維持	【成果の方向性】 ・コロナ禍以降、精神の不調や生きづらさを抱える人が増えており、自殺者も全国的に増加傾向が続いている。現状や地域の実情を踏まえながら、心の健康づくりの事業を継続していく。 【コストの方向性】 ・こころの健康のカウンセリングに対する多様なニーズに対応するため、心の健康相談室を維持運営できるように調整していく。	健康福祉部 健康衛生課
②-2	子ども・若者相談支援事業	【実績】 ・子ども・若者相談のうち、主たるひきこもり・ニートに関する相談においては、令和6年6月より、重層的支援体制事業所に移行した。 ・子育てからなる相談、子育て支援、子育て相談は21名であった。 ・義務教育が終了する中学3年生及び若年非正規雇用者等に対して、チャットの相談、広域版ホームページの掲載、自治体主催、自殺予防対策(3月)の1つの健康啓発表示(健康福祉部健康衛生課)でのチラシ設置で、広く市民に周知啓発を行った。 ・重層的支援体制(社会福祉協議会)に令和6年6月より参加し、相談支援状況の確認を行った。 【課題】 ・子ども・若者が抱える複雑化・複合化している課題(親子関係、ヤングケアラー、不登校などのひきこもり)に対して、若年層が取りやすいデザインの啓発資料の活用やSOSの出発点となる相談窓口、引き継ぎ心の健康づくりに関する正しい知識や相談先の周知啓発に努める。	B	77 85 95	休止 休止 休止	【成果の方向性】 ・令和6年6月より重層的支援に移行し、支援を実施している。 【コストの方向性】 ・社会福祉協議会の重層的支援に包含された。	子ども家庭部 児童福祉課
③-1	食育推進事業	【実績】 ・健康づくりボランティア養成講座を8回コースの内容で実施した。 ・ボランティアによる食育推進活動(実演)や料理講習会を実施した。 【課題】 ・食育推進活動の継続を図る。	A	90 80 74	現状維持 現状維持 現状維持	【成果の方向性】 ・食育等の参加者を増やすため、開催の周知啓発を引き続き実施する。 【コストの方向性】 ・ボランティアと連携して実施するため、コストは現状維持とする。	健康福祉部 健康衛生課

施策の方向性(改善策)

次年度の方向性	担当課評価
・がん検診事業の実施体制や勧奨方法について検討し、受診率の向上を図る。 ・健康づくりに関する教育事業と食育推進事業とを一体化し、健康づくり推進事業として健康づくりに関する正しい知識の普及に努める。 ・人間ドック検診助成は定員数の見直しを図りながら継続し、「健康費用の無料化」についても受診率の維持に貢献しているため継続していく。健康測定会では、健康相談及び生活習慣病予防・予防保健指導に目的を定め、規模を縮小して実施する。特定健康診査活動事業については、健康に興味のない層にリーチできるように、個別型ヘルスアップの活用を目指す。 ・精神保健事業は自殺予防対策やこころの健康づくりの推進を継続していく。 ・子ども・若者が抱える複雑化・複合化している課題(親子関係、ヤングケアラー、不登校などのひきこもり)に対して、若年層が取りやすいデザインの啓発資料の活用やSOSの出発点となる相談窓口、引き継ぎ心の健康づくりに関する正しい知識や相談先の周知啓発に努める。	A 4 事業 B 2 事業 C 0 事業

成果の方向性	コストの方向性
拡充 1 事業 現状維持 4 事業 縮小 0 事業 休止 1 事業	拡大 1 事業 現状維持 4 事業 縮小 0 事業 休止 1 事業

(第5次総合計画 前期基本計画 51-53 ページ)

目指す姿

地域全体での支え合いの意識が浸透し、高齢者が住み慣れた地域で生きがいを持ち、安心して生活できている。

SDGs該当分野

3 GOOD HEALTHY LIFE	5 EQUALITY 男女平等	10 REDUCED INEQUALITY 格差の縮小	11 SUSTAINABLE CITIES 持続可能な都市	16 PEACE AND JUSTICE 平和と正義
------------------------------	-----------------------	--------------------------------------	--	--

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①-1	介護予防・日常生活支援総合事業	排除や買い物等の日常生活支援、運動教室や栄養・口腔機能指導等の介護予防サービス等に加え、地域における通いの場の創出、介護予防に関するボランティアの育成等の助け合い・支え合いの仕組みづくりを推進します。また、事業所等の専門職が行うサービスに加え、地域住民や企業等の多様な主体によるサービスも提供できるように展開していきます。	●

前年度実績値 (R5)	今年度の進捗				担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (%)(前年度比)	
52.0	84.0	58.0	60.0	71.4%	健康福祉部 介護福祉課

■実施する主な事業

No	名称	概要	総合戦略
②-1	高齢者のための支援体制整備事業	高齢者の総合相談窓口である地域包括支援センターの機能強化を図ります。介護を必要とする人の家族に対する支援、地域・介護サービス事業者との連携強化を図り、良質なサービス提供、良質なケアの提供を促します。当該取組の方に対する支援、高齢者等の権利擁護及び虐待防止対策等の交流による支え合いにつながる支援を行います。	●
②-2	介護予防支援事業	地域包括支援センターで、要支援者等の認定を行うが、必要な介護サービスを受けられるよう支援します。	●
②-3	生きがい対策事業	長寿を祝うイベント、事業を実施し、高齢者の社会参加を促進し、生きがいのある暮らしの支援を行います。	●

前年度実績値		今年度の進捗				担当部署
(R5)	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成率 (R6年度比)		
89.7	89.5	—	—	—	健康福祉部 介護福祉課	
4.738	4,800	4,817	4,899	110.3%	健康福祉部 介護福祉課	

■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
③-1	介護保険給付適正化事業	給付の現状分析、ケアプラン点検及び介護サービス事業所に対する実地指導を行います。	—

前年度実績値 (R5)	今年度の進捗				担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (R6年度比)	
102,343	110,000	118,509	103,092	106.3%	健康福祉部 介護福祉課

[illegible]

担当課評価		成果の方向性				コストの方向性			
A	5 事業	拡充	1 事業	拡大	1 事業	現状維持	4 事業	現状維持	4 事業
B	0 事業	縮小	0 事業	縮小	0 事業	現状維持	4 事業	現状維持	4 事業
C	0 事業	休廃止	0 事業	休廃止	0 事業	現状維持	4 事業	現状維持	4 事業

令和6年度 行政評価 進捗管理シート

(第5次総合計画 前期基本計画 51-53 ページ)

政策名	2 健康で自分らしく過ごせる毎日のために。(健康・福祉)
施策名	10 障がい者福祉の充実

★ 目指す姿

障がい者がその有する能力及び適性に応じ、自立した生活を営み、自分らしく生き生きと安心して暮らすことができる。



■ 施策の主な取り組み

① 障がい者が地域で安心して暮らせる仕組みづくり

障がい者が安全・安心な環境のもと、自立した生活ができるよう、基盤整備を進めるとともに、障がい者の日常生活及び社会生活におけるニーズに対応した様々なサービスを展開します。

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初	目標値		
			(R1)	R6	R10	R14
意思疎通支援事業の登録者数	人	香芝市意思疎通支援者名簿(手話通訳・要約筆記)に登録されている人数(累計)	33	35	37	40
手話奉仕員の賛成人数	人	手話奉仕員養成講座を受講した延べ人数(平成14年度からの延べ人数)	500	550	600	650
障がい者の職場体験受け入れ人数	人	市が職場体験として受け入れた人数	4	8	12	16
優先調達金額	千円	障がい者就労施設等からの物品等の調達金額	498	600	700	800

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①-1	地域生活支援事業	総合的な相談支援をはじめ、日常生活用具の給付や入浴、移動等日常生活における支援や意思疎通支援者の派遣等によるコミュニケーションや情報取組に関する支援を行います。また、障がい者の社会参加に対する支援や職業訓練に要する費用の助成を行うなど、障がい者の地域における日常生活や社会生活のニーズに対応した福祉サービスの提供を行います。	●

前年度実績値 (R5)	今年度の進捗				担当部署
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (R6年度比)	
34	35	36	36	150.0%	健康福祉部 社会福祉課
572	550	590	590	180.0%	健康福祉部 社会福祉課
3	8	0	2	25.0%	健康福祉部 社会福祉課
500	600	272	962	160.3%	健康福祉部 社会福祉課

■ 実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価			今後の方向性		
		実績と課題	担当課 評価 (A/B/C)	3視点 必要性 有効性 効率性	所管判定 成果の方向性 コストの方向性	方向性の内容(改善策) ※3視点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点については、現状を改善し、高めていくための方策等について記入	担当部署
①-1	地域生活支援事業	【実績】 ・移動支援事業、日中一時支援事業、日常生活用具の給付事業 ・聴覚障がいのある方のコミュニケーション支援としての手話通訳・要約筆記者の派遣事業 ・精神障害者保健福祉手帳1、2級所持者に対する医療費助成事業 ・障がい児者ふれあいの集い開催 【課題】 ・優先調達金額の増加傾向の維持が課題 ・職場体験の受け入れ人数については、職場体験希望者の減少が課題	A	90 80 85	現状維持 現状維持 現状維持	【成果の方向性】 ・現在実施している地域生活支援事業については、これを維持していく。 ・任意事業については、市民ニーズを把握しながら拡充の必要性を検討していく。 ・障害理解や障害者の社会参加に向けた取組みを継続していく。 ・重層的支援体制整備事業の本格実施を受け、相談支援の拡充や地域活動支援センターの整備について、関係機関と協議を進める。 【コストの方向性】 ・障害のある人の生活支援について適切な相談支援、アセスメントを通じた支援を実施していく。	健康福祉部 社会福祉課



■ 施策の方向性(改善策)

次年度の方向性	地域福祉の推進に向けた各事業は概ね目標を達成することができたが、障害者の職場体験受け入れ人数について、昨年度に続いて目標の達成とならなかった。 職場体験の受け入れについて、自立支援協議会を通じて事業所への積極的な働き掛けを行うとともに、市内の周知方法の見直しや、受け入れ実績のある所属の受け入れ人数の調整を検討する。
---------	---

担当課評価	
A	1 事業
B	0 事業
C	0 事業

成果の方向性		コストの方向性	
拡充	0 事業	拡大	0 事業
現状維持	1 事業	現状維持	1 事業
縮小	0 事業	縮小	0 事業
休止止	0 事業	休止止	0 事業

令和6年度 行政評価 進捗管理シート

(第5次総合計画 前期基本計画 57-58 ページ)

政策名	2 健康で自分らしく過ごせる毎日のために。(健康・福祉)
施策名	11 生活困窮者支援の充実

★ 目指す姿

生活困窮者が各自の能力を活かしながら、経済的・精神的に自立できる社会



■ 施策の主な取り組み

① 生活困窮者への相談支援・就労支援の充実

生活困窮者を自立へとつなげていくために、包括的・継続的な助言・支援を受けることができる相談体制の充実を図るとともに、制度の周知を進めます。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①-1	自立支援促進事業	生活困窮者が自立した生活を送ることができるよう、助言・支援を行うほか、個別支援プログラムの作成やハローワークとの連携等により就労支援を行います。	●

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初	目標値			
			(R1)	R6	R10	R14	
支援プラン策定により就労につながった割合	%	就労につながった件数／一般就労を目標とした支援プランの策定件数	75	80	85	90	

前年度実績値 (R5)	今年度の進捗					担当部署
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (R6年度比)		
100	100	44	59	59.0%		健康福祉部 生活支援課

■ 実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価			今後の方向性			担当部署
		実績と課題	担当課 評価 (A/B/C)	3視点	所管判定	方向性の内容(改善策) ※3視点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点については、 現状を改善し、高めていくための方策等について記入		
				必要性 有効性 効率性	成果の方向性 コストの方向性			
今年度の事業実施計画								
①-1	自立支援促進事業	【実績】 就労支援プランの策定件数が17件であり、内就労開始となったのは10件であった。 【課題】 ・就労開始となっても早期退職する等の定着しない傾向と、再就職の原雇用条件のこだわりがなかなか就職に至らないという現状がある。 ・市にこもり等困難事例は多様化しており、より個別性に配慮した支援プランの策定と就労に向け、段階的なアセスメントと長期・継続的な支援が必要。	B	77 35 87	現状維持 現状維持	個々の困窮状況や特性(難症や病状等)、多様なニーズ(求職要件等)に応じた就労支援プランを作成し、障がい部門(庁内他)やハローワーク等関係機関とも連携し、よりきめ細やかなフォローアップ支援を目指す。	健康福祉部 生活支援課	

■ 施策の方向性(改善策)

次年度の方向性	個々の困窮状況や特性(難症や病状等)、多様なニーズ(求職要件等)に応じた就労支援プランを作成し、障がい部門(庁内他)やハローワーク等関係機関とも連携し、よりきめ細やかなフォローアップ支援を目指す。
---------	--

担当課評価	
A	0 事業
B	1 事業
C	0 事業

成果の方向性		コストの方向性	
拡充	0 事業	拡大	0 事業
現状維持	1 事業	現状維持	1 事業
縮小	0 事業	縮小	0 事業
休廃止	0 事業	休廃止	0 事業